第９号様式　その１

2018/8/29 提出

地球温暖化対策報告書（その１）

１　事業者の氏名等

事業者の氏名（法人にあっては名称及び代表者の氏名）	住友商事株式会社 代表取締役　兵頭　誠之
事業者番号	A 1 0 1 6

２　報告する事業所等の全体の状況（平成29年度）

条例第８条の23第１項報告事業所数	15 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	4,141 kl
条例第８条の23第２項報告事業所数	6 事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	28 kl

３　地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1

４　事業者としての取組

取組方針	当ビル入居テナント及び、管理会社と連携し、以下3点を重視して、地球温暖化対策に取り組む。①運用・保守方法の最適化　②中長期的な設備改修計画の策定・実施 ③入居テナントと一体的に取組む省エネ施策の立案・実施

組織体制の整備の状況

重点対策		その他対策	
対策番号	対策名	対策番号	対策名
A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A110	外部専門家への相談依頼の実施
A102	温暖化対策推進担当の配置	A113	推進担当者の知識向上・内部還元
A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A116	所内会議・研修会等で報告

５　特記事項

メーター計量の他、当初より作成した「エネルギー按分ツール」を使用し、テナントにエネルギー使用量の通知を継続して実施。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	ミツワ小川町ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 2　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田小川町3-7-1
事業所等の延床面積	4,756.82 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 182	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 347	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 349	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 72.9	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	710,960.0	9.97	7,088.3	0.489	347.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,088.3		⑮ 347.7
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	3,641.0			0.251	0.9
	公共下水道		■	m^3	3,813.0			0.439	1.7
合　計									⑯ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C809	冷風と温風の混合損失の防止
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事美土代ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 0 4
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 3　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田美土代町1
事業所等の延床面積	20,132.77 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 680	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,294	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 8	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,302	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 64.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	11,481.9	45.00	516.7	0.014	25.8
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	2,593,777.0	9.97	25,860.0	0.489	1,268.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 26,376.6		⑮ 1,294.1
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	6,707.0			0.251	1.7
	公共下水道		■	m^3	14,975.0			0.439	6.6
合　計									⑯ 8.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	日本弘道会ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 0 7
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 5　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　西神田3-1-6
事業所等の延床面積	3,880.99 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 131	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 250	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 251	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 64.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	511,508.9	9.97	5,099.7	0.489	250.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		■	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,099.7		⑮ 250.1
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	2,741.0			0.251	0.7
	公共下水道		■	m^3	2,741.0			0.439	1.2
合　計									⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C809	冷風と温風の混合損失の防止
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

2016年度平均入居率87.4%に対し、2017年度の平均入居率が100%と増加したため使用量が増加したもの。20kl（18%）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	神田アベビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 0 9
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 3　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田美土代町3-2
事業所等の延床面積	2,189.87 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 95	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 96	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 43.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	196,187.0	9.97	1,956.0	0.489	95.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		■	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 1,956.0		⑮ 95.9
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	1,795.9			0.251	0.5
	公共下水道		■	m^3	1,795.9			0.439	0.8
合計									⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）		

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	CN－1BLDG.
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 3 6 － 0 0 4 2　区市町村名 東京都江東区 町名番地以下 木場5-5-2
事業所等の延床面積	6,918.66 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 257	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 488	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 491	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 70.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	999,184.0	9.97	9,961.9	0.489	488.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,961.9		⑮ 488.6
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	4,624.0			0.251	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,624.0			0.439	2.0
合　計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
				A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事錦町ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 1 6
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 4　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田錦町1-6
事業所等の延床面積	9,041.33 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 280	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 534	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 538	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 59.0	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	1,092,416.0	9.97	10,891.4	0.489	534.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,891.4		⑮ 534.2
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	6,017.0			0.251	1.5
	公共下水道		■	m^3	6,017.0			0.439	2.6
合　計									⑯ 4.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

2016年度平均入居率95.5%に対し、2017年度の平均入居率が97.3%と増加したため使用量が増加したもの。40kl（16.7%）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事八重洲ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 1 7
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 1　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　京橋1-13-1
事業所等の延床面積	9,726.41 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 254	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 495	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 498	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 50.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		■	kWh	1,012,372.0	9.76	9,880.8	0.489	495.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,880.8		⑮ 495.0
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	4,573.0			0.251	1.1
	公共下水道		■	m^3	4,573.0			0.439	2.0
合　計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事神保町ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 1　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田神保町2-11-15
事業所等の延床面積	6,846.03 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 529	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,006	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,010	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 146.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	2,058,367.0	9.97	20,521.9	0.489	1,006.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 20,521.9		⑮ 1,006.5
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	6,025.0			0.251	1.5
	公共下水道		■	m^3	6,025.0			0.439	2.6
合　計									⑯ 4.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E133	節水器具の採用
				E134	駐車場CO等濃度制御の導入

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	netXDC第2センター
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 1 9
事業所等の所在地	〒 1 3 4 － 0 0 9 1　区市町村名 東京都江戸川区 町名番地以下 船堀3-5-14
事業所等の延床面積	66.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	5 0 0 9　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 10	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 20	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 20	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 303.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	■	kWh	19,685.0	9.97	196.3	0.489	9.6
		夜間(22時～翌日8時)	■	kWh	21,500.0	9.28	199.5	0.489	10.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 395.8		⑮ 20.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	新宿サミットクラブ
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 2 0
事業所等の所在地	〒 1 6 3 － 1 0 3 7　区市町村名　東京都新宿区 町名番地以下　西新宿3-7-1 新宿パークタワーN棟37F
事業所等の延床面積	912.33 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　■ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 6 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 53	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 101	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 102	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 110.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（冷水）		■	MJ	134,000.0	1.36	182.2	0.060	8.0
	その他（産業用以外の蒸気）		■	MJ	110,000.0	1.36	149.6	0.060	6.6
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		■	kWh	177,058.0	9.76	1,728.1	0.489	86.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,059.9		⑮ 101.2
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	2,311.0			0.251	0.6
	公共下水道		■	m^3	2,311.0			0.439	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策			C719	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策				
	設備導入対策			E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

飲食店舗として利用中。例年通りの利用客のため、変動要素なし。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事グローバル人材開発センター
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 2 1
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 6 1　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　銀座7-17-16
事業所等の延床面積	4,911.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	5 6 0 0　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 129	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 246	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 247	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	■	kWh	503,805.0	9.97	5,022.9	0.489	246.4
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,022.9		⑮ 246.4
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	2,219.9			0.251	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,219.9			0.439	1.0
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）		
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）		
		E114	高効率パッケージの採用		
		E123	トップランナー機器の採用		

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

通常運営中。変動要素なし。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	八重洲宝町ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 2 3
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 1　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　京橋1-18-1
事業所等の延床面積	11,832.75 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 402	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 764	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 768	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 64.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	■	Nm^3	7,140.7	45.00	321.3	0.014	16.0
	その他（冷水）	■	MJ	1,727,146.0	1.36	2,348.9	0.060	103.6
	その他（温水）	■	MJ	194,511.0	1.36	264.5	0.060	11.7
	その他（）	□		0.0				
	その他（）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	■	kWh	1,295,838.0	9.76	12,647.4	0.489	633.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 15,582.2		⑮ 765.0
その他	水道及び工業用水道	■	m^3	6,390.0			0.251	1.6
	公共下水道	□	m^3	6,390.0			0.439	2.8
合　計								⑯ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C805	中央熱源機器等の季節設定実施	C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	麹町三葉ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 2 4
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 4　区市町村名 東京都千代田区 町名番地以下 二番町3-5
事業所等の延床面積	8,579.77 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 404	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 769	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1,085	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,854	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 89.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	1,572,692.0	9.97	15,679.7	0.489	769.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 15,679.7		⑮ 769.0
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	1,572,692.0			0.251	394.7
	公共下水道		□	m^3	1,572,692.0			0.439	690.4
合計									⑯ 1,085.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	住友商事京橋ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 2 5
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 1　区市町村名 東京都中央区 町名番地以下 京橋1-18-10
事業所等の延床面積	11,177.55 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 305	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 593	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 596	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 53.0	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		■	kWh	1,213,193.0	9.76	11,840.8	0.489	593.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,840.8		⑮ 593.3
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	4,623.0			0.251	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,623.0			0.439	2.0
合　計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg·CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	第2佐野ビル
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 2 6
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 4　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田錦町2-2-16
事業所等の延床面積	221.81 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 5	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 10	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 10	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 45.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		■	kWh	20,904.0	9.76	204.0	0.489	10.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 204.0		⑮ 10.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	35.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	35.0			0.439	0.0
合計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

空室未使用

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	御成門PREX
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 3 2
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 0 4　区市町村名 東京都港区 町名番地以下 新橋6-14-3
事業所等の延床面積	3,500.33 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 4	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 7	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 7	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 1.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	■	kWh	16,123.0	9.97	160.7	0.489	7.9
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 160.7		⑮ 7.9
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	85.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	85.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A405	ビル全体の推進体制の整備
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C808	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

変動要素が少ないため前年度とほぼ同じエネルギー使用量となったもの。

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	GINZA SIX
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 3 3
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 6 1　区市町村名　東京都中央区 町名番地以下　銀座6-10-1
事業所等の延床面積	33,697.85 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 0	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 0	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	■	kWh	1,188.0	9.97	11.8	0.489	0.6
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		■	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11.8		⑮ 0.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A403	中央熱源方式の空調使用量の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A502	ビルで設置する推進体制への協力
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B104	設備ごとに詳細に把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C805	中央熱源機器等の季節設定実施	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

2017年4月売却のため、減少。60kl(▲100%)

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	神田スクエアフロント
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 3 4
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 4　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田錦町1-4-3
事業所等の延床面積	7,341.66 m^2　事業所等のエネルギー使用期間　□ 1年度分　■ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	2017年5月取得

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 95	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 181	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 24.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	371,188.0	9.97	3,700.7	0.489	181.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合計							⑭ 3,700.7		⑮ 181.5
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	1,416.0			0.251	0.4
	公共下水道		■	m^3	1,416.0			0.439	0.6
合計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C123	温湿度の適正管理
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E125	高輝度誘導灯の導入
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

2017年5月取得

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	麹町PREX
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 3 5
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3　区市町村名 東京都千代田区 町名番地以下 麹町3-2-9
事業所等の延床面積	2,999.24 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 □ 1年度分 ■ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	2018年3月取得

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 0	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 1	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 0.3	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	3,620.0	9.97	36.1	0.489	1.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 36.1		⑮ 1.8
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	19.0			0.251	0.0
	公共下水道		■	m^3	19.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A503	ビルへの温暖化対策提案の実施
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C123	温湿度の適正管理
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C811	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C812	自動販売機の不要時の停止
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

2018年3月取得

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	サン・アンド・サンビルディング
事業所番号	A 1 0 1 6 ― 0 0 3 6
事業所等の所在地	〒 1 3 5 ― 0 0 1 6　区市町村名　東京都江東区 町名番地以下　東陽7-2-18
事業所等の延床面積	24,098.82 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	対象物件見直しにより追加

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 403	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 789	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 794	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 32.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		■	Nm^3	13,453.9	45.00	605.4	0.014	30.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	■	kWh	926,446.0	9.97	9,236.7	0.489	453.0
		夜間(22時～翌日8時)	■	kWh	626,740.0	9.28	5,816.1	0.489	306.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,658.2		⑮ 789.7
その他	水道及び工業用水道		■	m^3	7,464.0			0.251	1.9
	公共下水道		■	m^3	7,464.0			0.439	3.3
合　計									⑯ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A406	使用量に応じた料金体系等の採用
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E108	高効率照明器具の採用（屋外）
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg \cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

対象物件見直しにより追加

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	ダヴィンチ小川町
事業所番号	A 1 0 1 6 － 0 0 3 7
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 4　区市町村名　東京都千代田区 町名番地以下　神田錦町2-4
事業所等の延床面積	486.24 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	対象物件見直しにより追加

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 9	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 17	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 17	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 34.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	■	kWh	36,146.0	9.97	360.4	0.489	17.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 360.4		⑮ 17.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A405	ビル全体の推進体制の整備
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C808	温湿度の適正管理
		C801	共用部照明のフロアごとの管理		
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定		
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
		C805	中央熱源機器等の季節設定実施		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	□　目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

対象物件見直しにより追加